

病院からのお知らせ

京都大学医学部附属病院心臓血管外科では、胸腹部大動脈置換術において創部痛軽減の目的で cryoablation による肋間神経ブロックを採用しております。2016 年 8 月から 2018 年 12 月までの間において SIRC アプローチという方法で胸腹部大動脈置換術を受けられた患者さんを対象にこの方法の効果の研究を行います。

この研究は、cryoablation による肋間神経ブロックの効果を評価する目的に、治療を受けた時およびその術後のデータ収集を行うものです。収集するのは患者様の手術時、術後の詳細なデータおよび術後の痛みの程度、その他の鎮痛剤の使用状況です。該当する方のカルテよりデータを収集させていただきたいと存じます。

本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施するものです。患者様の個人名を匿名化して行う為、個人情報、外部に公表されることは一切ありません。また、この研究の参加はいつでも拒否でき、それによる不利益は一切生じません。また、参加したからといって、新たに検査等を受ける必要はありません。

この研究は、運営費交付金により実施します。利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査・管理しています。

わからないこと・心配なことがありましたら、いつでも当院担当医師または中央事務局までご相談下さい。研究に関する資料を個人情報や知的財産の保護等に支障がない範囲でご提供できます。

＊ ＊ ＊

研究課題名

胸腹部大動脈置換術における cryoablation による肋間神経ブロックの有用性の検討

研究責任者：京都大学医学部医学研究科 器官外科学心臓血管外科 教授 湊谷 謙司

試料情報等管理責任者：京都大学医学部附属病院 心臓血管外科 医員 坂本和久

研究期間：2019 年 10 月 9 日より 2 年間

中央事務局：京都大学医学部附属病院 心臓血管外科教室

京都市左京区聖護院川原町 54

TEL 075-751-3780

京大病院患者さん相談窓口：

京都大学医学部附属病院 相談支援センター

(電話) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp

2020 年 9 月 16 日改訂 ver1.2